

令和9年度
熊本高等専門学校
編入学生募集要項



募集学科	WEB 出願期間	出願書類 受付期間	選抜期日	合格発表日
情報通信エレクトロニクス工学科	6月15日(月)～ 6月26日(金)	6月22日(月)～ 6月26日(金)	7月17日(金)	7月24日(金)

独立行政法人国立高等専門学校機構

熊本高等専門学校

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

【熊本キャンパス】

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
TEL (096) 242-6197 (学生課)
FAX (096) 242-5504

【八代キャンパス】

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
TEL (0965) 53-1331 (学務課)
FAX (0965) 53-1239

目 次

募集要項

1. 教育理念	1
2. 育成する人材像	1
3. 編入学生受入方針（アドミッションポリシー）	1
4. 募集学科・募集人員・編入学年次	2
5. 日程	2
6. 入学手続	2
7. 個人情報の取り扱い	2
8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供	3
9. 検定料の返還について	3
10. 追試験について	4
11. 受験会場について	5
12. 編入学選抜に関する窓口	5

情報通信エレクトロニクス工学科

I. 出願資格	7
II. 願書受付及び選抜方法	7
(1) 募集学科	7
(2) 出願手続	7
(3) 出願書類	7
(4) 選抜方法	8
(5) 学力検査及び面接	8
III. 合格者の発表日	9
IV. 入学確約書の提出	9

学校案内

1. 本校の目的	10
2. 修業年限・学科等	10
3. 学科案内	10
4. 専攻科の概要	11
5. 学寮	11
6. 学費	11
7. 入学料・学費等の支援制度	12
8. 課外活動	12
9. 卒業後の進路	12
10. 教育課程	14
11. 出願の流れ	16
12. キャンパス案内図	17

令和9年度 編入学生募集要項

1. 教育理念

本校は、専門分野の知識と技術を有し、技術者としての人間力を備えた、国際的にも通用する実践的・創造的な技術者の育成および科学技術による地域社会への貢献を使命とする。

2. 育成する人材像

1. 日本語および英語のコミュニケーション能力を有する技術者
2. ICTに関する基本的技術および工学への応用技術を身に付けた技術者
3. 各分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力を持った技術者
4. 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性を身に付けた技術者
5. 広い視野と技術のあり方に対する倫理観を身に付けた技術者
6. 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる技術者

3. 編入学生受入方針（アドミッションポリシー）

求める学生像

1. 科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人
2. 科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人
3. コミュニケーションの基礎が備わっている人
4. 社会への貢献意識を持っている人
5. 専門分野における基礎力*を持っている人

*専門分野における基礎力

情報通信エレクトロニクス工学科	情報通信工学およびエレクトロニクスにおける基礎力
制御情報システム工学科	電気・電子工学、情報工学、計算機工学など、制御情報システム工学における基礎力
人間情報システム工学科	人間情報システム工学におけるプログラミングや、電気回路・計算機工学などの情報工学の基礎力
機械知能システム工学科	機械工学、電気・電子工学など機械知能システム工学科における基礎力
建築社会デザイン工学科	建築学、土木工学など建築社会デザイン工学科における基礎力
生物化学システム工学科	生物科学、化学など生物化学システム工学科における基礎力

入学者選抜の基本方針

本校の学習・教育目標を達成する資質を有し、本校の専門学科での勉学に必要な素養及び基礎学力を備えた人を選抜します。編入学生を選抜は、学力検査の成績及び面接の総合判定により行います。なお、志願者が募集人員内であっても、選考基準に満たない場合は、不合格となる場合があります。

4. 募集学科・募集人員・編入学年次

募集学科		募集人員	選抜方法	編入学年次
情報通信エレクトロニクス工学科	熊本キャンパス	若干名	学力選抜	第4学年
制御情報システム工学科		募集しない		
人間情報システム工学科		募集しない		
機械知能システム工学科	八代キャンパス	募集しない		
建築社会デザイン工学科		募集しない		
生物化学システム工学科		募集しない		

5. 日程

WEB 出願期間	出願書類受付期間	選抜期日	合格発表日
6月15日(月)～ 6月26日(金)	6月22日(月)～ 6月26日(金)	7月17日(金)	7月24日(金)

6. 入学手続

合格した人には、令和9年2月下旬に入学手続き及び出校日の案内を送付しますので、各キャンパスに出校し、入学に要する諸手続を行ってください。

この手続きを完了しない人は、入学を許可しません。

7. 個人情報の取り扱い

WEB 出願で入力した情報や提出された調査書等に掲載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった選抜を通して取得した個人情報は、選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- ① 入学後の教育・指導
- ② 入学料、授業料の免除申請の審査
- ③ 奨学金申請の審査
- ④ 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録
- ⑤ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

8. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供

熊本高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する場合は、出願期間を問わず早めにご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもありますので、出願期間を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、本人、保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)在籍学校等における支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

9. 検定料の返還について

受理した検定料は返還しません。ただし、次に該当した場合は、払込済の検定料を返還します。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合
- (2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

以下必要事項を記載した「検定料返還請求願」（様式は問いません）を作成の上、「振込金受取書・振込金受付書（学校提出用）」を必ず添付して、速やかに請求してください。

[必要事項]

- ・返還請求の理由
- ・志願者氏名、現住所、連絡先電話番号
- ・振込口座（銀行名、支店名、普通預金の口座番号、口座名義（ふりがなも記載してください）、志願者氏名と口座名義が異なる場合は志願者との続柄）

返還請求をされる場合は、まず志望学科のあるキャンパスに電話でお問い合わせください。

返還は請求書受理後2～3ヶ月程度かかります。また、返還に係る振込手数料は請求者の負担となりますので予めご了承ください。

10. 追試験について

入学志願者がインフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、出願していた選抜検査を受験できなかった場合の対応として、追試験を実施します。

(1) 追試験の対象者は、次のとおりとします。

- ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第18条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
 - イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者
- なお、「月経随伴症状等の体調不良」も追試験の受験要件に該当します。

(2) (1) アに示す本試験を受験できない事由は、高校等の長又は医療機関による証明等により、校長が確認するものとする。

(3) (1) アに示す本試験を受験できない事由を認める期間については、施行規則第19条に定める出席停止の期間の基準を原則とする。

該当すると思われる受験者は、受験票に記載のキャンパスにご連絡ください。

- ①本試験を受験できないと判断された時点でご相談ください。
- ②本試験当日の場合は、本試験の受験を控え、検査開始時刻までにご連絡ください。なお、受験会場で検査開始前に具合が悪くなった場合は、体温等を確認した上で追試験を受験していただくことがありますので、ご了承ください。
- ③後日、医療機関等または高校等の長による証明を記載した「編入学選抜追試験受験申請書」をご提出ください。様式は本校 Web サイトからダウンロードできます。

- ・編入学選抜検査追試験受験申請書（高校等の長による証明）
- ・編入学選抜検査追試験受験申請書（医療機関による証明）

追試験日程は次表のとおりです。

表 追試験の実施日

日程種別	追試験
選抜日程	令和8年8月 6日（木）
合格発表	令和8年8月21日（金）
入学確約書提出期限	令和8年8月28日（金） 午後5時00分

1 1. 受験会場について

- ・受験生控室は設置しません。
- ・換気のため、窓やドアを開放することがあります。

今後の状況により変更があった場合は、本校 Web サイトで周知します。

本校 Web サイト <https://kumamoto-nct.ac.jp/>

1 2. 編入学者選抜に関する窓口

編入学者選抜に関する業務は、下記で行っています。志願に関し不明な点がある場合は、志望学科のあるキャンパスにお問い合わせください。

(熊本キャンパス)

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2
 TEL (096) 242-6197 (学生課)
 FAX (096) 242-5504
 E-Mail gs-hosa@kumamoto-nct.ac.jp

(八代キャンパス)

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627
 TEL (0965) 53-1331 (学務課)
 FAX (0965) 53-1239
 E-Mail g-hosa@kumamoto-nct.ac.jp

【情報通信エレクトロニクス工学科】

(熊本キャンパス)

I. 出願資格

入学を志願できる人は、次のいずれかに該当する人となります。
ただし、本校在学中の人は除きます。

- (1) 高等学校を卒業した人又は令和9年3月卒業見込みの人
- (2) 中等教育学校を卒業した人又は令和9年3月卒業見込みの人
- (3) 文部科学省が定める大学入学資格を有する人又は入学までに取得見込みの人

II. 願書受付及び選抜方法

(1) 募集学科

情報通信エレクトロニクス工学科

(2) 出願手続

(I) 志望学科は、第2志望まで選択できます。

(II) 出願手続は、出願サイトで行う①「WEB出願」と写真票等の必要書類を本学へ提出する
②「出願書類提出」を行い、本学が受理したことをもって完了となります。

① WEB 出願

志願者は、本学ホームページから出願サイトへアクセスし、WEB出願サイトへの入力及び検定料(16,500円)の納入を行ってください。入力する際は、本学ホームページに掲載している「WEB出願の手引き」をよく読んで入力してください。**なお、検定料の支払い方法を選択する前に、いったん保存して「申込内容確認書」を印刷し、保護者や在籍する学校等に確認してもらってください。**

WEB出願期間：令和8年6月15日(月)～6月26日(金)

② 出願書類の提出

①のWEB出願完了後、(3)の書類を整え、熊本キャンパスに持参又は郵送してください。郵送する場合は書留郵便とし、WEB出願サイトマイページから出力される宛名票を貼り付けた封筒(角2号)に書類を入れ、提出してください。

・出願書類提出期間：令和8年6月22日(月)～6月26日(金)(必着)

・受付時間：午前9時00分から午後4時00分まで

(3) 出願書類

①写真票	WEB出願サイトマイページから印刷(A4白色用紙に倍率100%で印刷)し、提出してください。 写真は、上半身・正面向・無帽・マスク未着用・無背景で、令和7年4月以降に撮影したものとします。顔写真データをアップロードしない場合は、写真票印刷後に志願者の写真(4cm×3cm)を貼付してください。
②調査書	在籍(出身)学校所定の様式を使用して、在籍(出身)学校長が作成、厳封したものを提出してください。

※出願上の注意

① WEB出願の直後に、「申込受付完了メール」が届きます。届かない場合は、熊本キャンパ

スに問い合わせてください。

- ② 出願書類に不備があるものは、受理しません。
- ③ **受験票は、令和8年7月6日(月)からWEB出願サイトマイページから印刷可能です(A4白色用紙に倍率100%で印刷)。**
- ④ WEB出願した内容及び提出した出願書類の記載事項の変更は、認めません。
- ⑤ 受理した出願書類及び検定料は、返還しません。ただし、「9. 検定料の返還について(4ページ)」で示す場合を除きます。
- ⑥ WEB出願した内容及び提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

(4) 選抜方法

編入学生の選抜は、学力検査の成績、面接及び調査書の総合判定により行います。なお、志願者が募集人員内であっても、選考基準に満たない場合は、不合格となる場合があります。

(5) 学力検査及び面接

(I) 学力検査教科・科目・配点

学力検査は筆記試験とし、検査教科・科目は下のとおりです。

募集学科	教科(配点)	科目
情報通信エレクトロニクス工学科	専門(200点)	工業情報数理、電気回路 (三相交流、電気計測分野、各種の波形分野を除く。)

(II) 面接の配点

募集学科	配点
情報通信エレクトロニクス工学科	100点

(III) 学力検査、面接の日時及び検査場

募集学科	日時及び場所	専門	面接
情報通信エレクトロニクス工学科	7月17日(金) 熊本キャンパス	9:30~10:20 (50分)	10:45~

※学力検査当日は、集合時間(午前9時10分)までに熊本キャンパス1号棟玄関ロビーで受付を済ませ、係員の指示に従ってください。

(IV) 学力検査当日の注意事項

- ① 受験票及び筆記用具を持参してください。
- ② 検査中は、受験票のほか、筆記用具(HB程度の黒鉛筆又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、時計(計時機能だけのもの)以外は使用できません。
[携帯電話は、電源を切ってかばんの中に入れてください。下敷き、コンパス、定規、分度器、電卓及び翻訳機能・計算機・地図付の時計等の持ち込みはできません。]
- ③ 上履きは不要です。
- ④ 受験のための宿舎の斡旋はしません。

Ⅲ. 合格者の発表日

募集学科	合格発表日
情報通信エレクトロニクス工学科	令和8年7月24日(金) 午前10時00分

熊本キャンパスに合格者の受験番号を掲示するとともに、本人及び学校長に判定結果を文書で通知します。また、合格者の受験番号を本校のWebサイトにも掲載します。

(熊本高等専門学校のWebサイトのアドレス <https://kumamoto-nct.ac.jp/>)

※電話・FAX等による合否の照会には一切応じません。

Ⅳ. 入学確約書の提出

合格通知書を受けとった人は、入学確約書を下記期限までに提出してください。

なお、期限までに提出しない人は、入学を許可しません。ただし、郵便事情などの本人の責に帰せざる理由で、提出が遅れたときは考慮します。

募集学科	確約書提出期限	提出先
情報通信エレクトロニクス工学科	令和8年7月31日(金) 午後5時00分	熊本キャンパス学生課

学 校 案 内

1. 本校の目的

中学卒業者を5年間の一貫したカリキュラムで教育し、豊かな教養と高度の専門技術を身につけた技術者を養成する高等教育機関です。

なお、高等学校卒業者に対して、第4学年への編入学を認めています。

2. 修業年限・学科等

学 科	修 業 年 限	学 級 数	入 学 定 員
情報通信エレクトロニクス工学科※	5	1	40
制御情報システム工学科※	5	1	40
人間情報システム工学科※	5	1	40
機械知能システム工学科	5	1	40
建築社会デザイン工学科	5	1	40
生物化学システム工学科	5	1	40
計			240

なお、編入学生の修業年限は2年間です。

※ 令和8年度から、改組により学科名及び入学定員が変更されましたが、編入学生については、令和11年度から適用されます(記載は旧学科名等)。

3. 学科案内

○情報通信エレクトロニクス工学科

情報通信エレクトロニクス工学科は、情報通信とエレクトロニクスの専門技術とともに両者を融合した技術を身に付け、情報通信とエレクトロニクスに対する高度化、多様化したニーズに応えられる技術者の育成を目的とします。

○制御情報システム工学科

制御情報システム工学科は、電気・電子工学、情報工学、計算機工学及び計測・制御工学の基礎技術を身に付け、これを基盤として制御と情報の関連技術を融合し、ソフトウェアとハードウェアを統合した制御情報システムを実現できる技術者の育成を目的とします。

○人間情報システム工学科

人間情報システム工学科は、ソフトウェア・エレクトロニクス・ヒューマンウェアの技術を加味した情報工学を基本に、人の生活に役立つ情報システムづくりの基礎を身に付け、社会のニーズに応えられる感性豊かな技術者の育成を目的とします。

○機械知能システム工学科

機械システム工学科は、「機械工学」を基本として、「電気・電子・制御・情報・通信システム」等の幅広い技術分野にも対応しながら、様々な生産活動の場において総合エンジニアとして「モノづくり」に貢献できる技術者の育成を目的とします。

○建築社会デザイン工学科

建築社会デザイン工学科は、建築学の専門基礎技術に、土木工学、情報通信技術、計測技術を加え、自然環境、防災、文化、歴史に配慮し持続可能な社会の実現をめざす、建設構造物の設計・施工、地域づくりやまちづくりに貢献できる技術者の育成を目的とします。

○生物化学システム工学科

生物化学システム工学科は、生物学と化学の専門基礎技術に情報電子技術を加え、生物の持つ様々な機能を工学的に応用するバイオ技術を駆使して、医薬医療・食品・化学等の産業分野で展開されている「先進的で高度なモノづくり」に貢献できる実践的バイオ・ケミカル技術者の育成を目的とします。

4. 専攻科の概要

専攻科は、高等専門学校における教育の基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する人材を育成することを目的としています。

電子情報システム工学専攻（定員24名）【熊本キャンパス】

電子情報システム工学専攻は、電子情報技術及び応用技術の高度化・グローバル化に対応して、電子情報系の専門知識・技術とコミュニケーション力を身に付け、複合領域にも対応できる幅広い視野と柔軟な創造力を備え、かつ健全な精神を持った広く産業の発展に貢献し国際的にも活躍できる技術者の育成を目的とします。

生産システム工学専攻（定員24名）【八代キャンパス】

生産システム工学専攻は、準学士課程における機械知能系・建築社会デザイン系・生物化学系の何れかの複合型専門を基礎として、モノづくりの基礎をデザインしこれを展開して、国際的な視点に立ったイノベーション創成を担うことのできる高度な開発技術者及び地域産業の発展に貢献できる技術者の育成を目的とします。

5. 学寮

構内に教育寮として学生寮（熊本キャンパス：明和寮、八代キャンパス：八龍寮、夕葉寮）が設置されています。冷暖房完備の個室又は二人部屋の居室です。それぞれに学習机、椅子、ベッドなどが設置され、そのほか食堂、浴室、休養室、洗面洗濯室なども設置しています。

学寮は、単に日常生活の場であるのみならず、将来社会人として互いに協力できる人間形成の場として重要な意義を持ちます。

なお、入寮を希望する人は選考のうえ許可します。

寮 費	明和寮（熊本キャンパス）	八龍寮、夕葉寮（八代キャンパス）
寄 宿 料	月額 800 円（個室）、700 円（二人部屋）	
管 理 費	月額 5,000 円（電気料は、個人の 使用量により毎月徴収）	半期 44,400 円リース・ガス代・消耗品・ 寮生会費を含む。）
食 費	月額約 40,000 円	月額約 40,000 円
寮 生 会 費	月額 500 円	

6. 学費

入学時に必要な学費は、おおよそ次のとおりです。（共通 熊本キャンパス、八代キャンパス）

入 学 料	84,600 円	
授 業 料	117,300 円	年額 234,600 円のうち前期分
後 援 会 費	13,000 円	年額 20,000 円のうち前期分+入会金 3,000 円
日本スポーツ振興センター 災害給付制度保護者負担金	1,550 円	年額
学 生 教 育 研 究 災 害 傷 害 保 険 掛 金	1,750 円	卒業までの 2 年間
教 科 書 ・ 教 材 費	35,000 円～ 40,000 円	
学 生 会 費	3,500 円	熊本キャンパス（年額 5,400 円のうち前期分+入会金 800 円）
	6,000 円	八代キャンパス（年額 6,000 円のうち前期分+入会金 3,000 円）
デジタル学生証・保護者証 「がぶり！」利用料	4,000 円	年額

※上記の納付金額は予定であり、改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※熊本キャンパスは 4 年次に見学旅行費用 180,000 円～250,000 円（年度・学科により異なる）が必要です。

7. 入学料・学費等の支援制度

経済的な理由で学びを続けることをあきらめずにすむよう、「高等教育の修学支援新制度」が2020年4月から始まりました。

世帯収入や資産の要件を満たしていること、学ぶ意欲がある学生であることなどの要件を満たす学生全員が支援を受けられます。

入学料や授業料等の減免と給付型奨学金により、意欲のある学生のみなさんの「学び」を支える制度です。

※令和6年度より、多子世帯への支援が拡大されています。

詳細は文部科学省のホームページ等をご確認ください。

貸与型の奨学金も同時に申し込むことができます。学業・人物ともに優れ、かつ健康な学生であって、経済的理由により修学に困難がある人で、将来の奨学金返還に対して明確な自覚と強固な責任遂行の意志を持つ人は、選考のうえ独立行政法人日本学生支援機構奨学生として学資の貸与を受けることができます。第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子）があります。

上記以外にも地方公共団体、民間団体等による奨学制度があり、該当すれば申し込むことができます。

8. 課外活動

本校では、学生会を中心に体育系、文化系、技術系のサークルがあり、高専体育大会、ロボットコンテスト、デザインコンテスト及びプログラミングコンテスト等、各種大会への参加をはじめとして活発な課外活動が行われています。

熊本キャンパス	八代キャンパス
弓道部、剣道部、サッカー部、水泳部、ソフトテニス部、卓球部、テニス部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、ハンドボール部、野球部、ラグビー部、陸上部、イラスト研究部、軽音楽部、吹奏楽部、電子計算機部、放送部、ロボコン部、ESS（英会話）部、ダンス部、百人一首部、自転車競技同好会、写真同好会、料理同好会、e-スポーツ同好会、ドローン同好会、ボードゲーム同好会	野球部、サッカー部、バスケットボール部、ソフトテニス同好会、バドミントン部、バレーボール部、陸上部、剣道部、水泳部、卓球部、柔道部、ハンドボール部、テニス部、弓道部、英語研究部、吹奏楽部、音楽研究部、茶道同好会、ロボコン部、情報システム研究部、ラジコン研究部、the plastic arts 同好会、NITKボランティアサークル同好会、放送同好会

9. 卒業後の進路

(1) 就職

高専卒業生に対して、産業界からは大学卒とほぼ同じレベルの評価を得ています。現在、就職率はきわめて良好な状態を維持しており、就職希望者のほとんどが卒業時までには就職先が決定しています。

なお、各学科の予想される就職先の分野と地域は以下のとおりです。

・情報通信エレクトロニクス工学科

スマートフォンやネットワークなどの情報通信分野、半導体やデジカメなどエレクトロニクス分野、自動車や医療、食品・化学など ICT 活用分野で活躍できます。勤務先所在地は、熊本、福岡等九州圏内、及び関東・東海・関西などです。

・制御情報システム工学科

自動車、鉄道、電力、ソフトウェア、エンジニアリング、プラント、精密機械、電機、半導体、化学・製薬、医療機器などのハード系からソフト系まで幅広い分野で活躍できます。勤務先所在地は、熊本、福岡等九州圏内、及び関東・東海・関西などです。

- ・人間情報システム工学科
ソフトウェア、情報通信システム、物流システム、放送・広告、医療・福祉などのサービス産業分野、及び自動車、電子機器、プラントなど製造業分野の主に IT 部門で活躍できます。勤務先所在地は熊本、福岡等九州圏域及び関東、関西などです。
- ・機械知能システム工学科
機械一般、電気・電子、ソフトウェア、エンジニアリング、技術サービスなどの分野で活躍できます。勤務所在地は、関東地方がもっとも多く、県内はもとより九州管内や関西地方に広がっています。
- ・建築社会デザイン工学科
総合建設業、建設関連業、設計・コンサルタント、異業種の建設部門、官公庁など多岐にわたる分野で活躍できます。勤務所在地は、関東地方がもっとも多く、県内はもとより九州管内や関西地方に広がっています。
- ・生物化学システム工学科
医薬、化学、食品をはじめとする多方面の工業分野で活躍できます。勤務所在地は、九州管内・関東地方がもっとも多く、県内はもとより関西地方に広がっています。

(2) 進学

現在本校の卒業生の約4割は進学しています。その場合二つの選択肢があります。

一つは高専の専攻科に進学することです。専攻科の修業年限は2年間ですが、一定の条件を満たして修了し、必要な手続きを行うことにより大学卒業と同様の「学士」の学位を取得することができます。この専攻科のメリットは入学金が大学の約3分の1、授業料が半分以下であり、金銭的負担が少ない点です。専攻科修了後、さらに勉学を続けたい人は、大学院へ進学することができます。

もう一つの選択肢は、大学に編入学することです。多くの大学が高専卒業生を大学3年次への編入学生として受け入れています。

10. 教育課程

共通教育科 (6学科共通)

(令和4年度以降入学者用)

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考
必修科目	基礎科目	国 語 I	2	2					
		国 語 II	2		2				
		国 語 III	2			2			外国人留学生以外に対して開講
		日 本 語 I						外国人留学生に対して開講	
		公 共 理 学	2	2					
		倫 理	2		2				
		歴 史 総 合 I	2		2				
		歴 史 総 合 II	2			2			外国人留学生以外に対して開講
		日 本 語 I						外国人留学生に対して開講	
		数 学 I	6	6					
		数 学 II	6		6				
		数 学 III	6			6			
		化 学	3	3					
		物 理 I	3		3				
		物 理 II	2			2			
		英 語 I	4	4					
		英 語 II	4		4				
		英 語 III	4			4			
	生 涯 ス ポ ー ツ I	2	2						
	生 涯 ス ポ ー ツ II	2		2					
	生 涯 ス ポ ー ツ III	2			2				
	総合科目	リベラルアーツ入門	1	1					
		リベラルアーツ実践 I	1		1				
		リベラルアーツ実践 II	1			1			
		リベラルアーツ実践 III	1				1		
		コミュニケーション言語論	1				1		外国人留学生以外に対して開講
		日 本 語 II						外国人留学生に対して開講	
		科 学 技 術 と 現 代	1				1		
		国 際 社 会 と 文 化	1				1		外国人留学生以外に対して開講
		日 本 語 II						外国人留学生に対して開講	
		総 合 理 科	2	2					
実 践 英 会 話		2			2				
英 語 IV		2				2			
生 涯 ス ポ ー ツ IV		2				2			
クリエイティブアーツ	2	2							
開 設 単 位 合 計 (31 科 目)	75	24	22	21	8	0	日本語含まず		
選択科目	一般選択	日 本 文 学 概 論	1					1	} 並列開講
		国 際 社 会 と 経 済	1				1		
		技 術 者 と 法	1					1	} 並列開講
		英 語 V	1				1		
		国 際 言 語 文 化 論	1					1	
	開 設 単 位 合 計 (5 科 目)	5					5		
	(履 修 可 能 単 位)	2					2		
	特別選択	チ ャ レ ン ジ セ ミ ナ ー	1		1～5年で随時				各種コンテスト等受賞者に認定
		国 際 ・ 異 文 化 理 解	1		1～5年で随時				海外研修等参加者に認定
		基 礎 科 目 応 用	1		1～5年で随時				漢字検定や実用英語検定などの資格取得
特 別 学 習		1		1～5年で随時				ボランティア、特別講義など	
開 設 単 位 合 計 (4 科 目)	4					4			
(選 択 単 位 合 計)	6					6			
開 設 単 位 合 計 (40 科 目)	84	24	22	21	8	9			
履 修 可 能 単 位 合 計	81	24	22	21	8	6			

区分1	区分2	授 業 科 目	単位数	1年	2年	3年	4年	5年	備 考	
必修科目	基盤科目	基礎電気学Ⅰ	2	2						
		基礎電気学Ⅱ	2		2					
		電子通信工学基礎	2	2						
		情報リテラシー	2	2						
	専門基礎科目	応用数学Ⅰ	2					2		
		応用数学Ⅱ	2						2	
		応用物理	2					2		
		電気磁気学Ⅰ	2			2				
		電気磁気学Ⅱ	2					2		
		電気回路学Ⅰ	2		2					
		電気回路学Ⅱ	2			2				
		信号伝送工学	2					2		
		電磁波工学	2						2	
		電子計測	2			2				
		通信システム工学	2					2		
		電子回路学Ⅰ	2			2				
		電子回路学Ⅱ	2					2		
		電子工学	2					2		
		計算機工学Ⅰ	2		2					
		計算機工学Ⅱ	2			2				
		デジタル設計	2					2		
		プログラミングⅠ	2		2					
		プログラミングⅡ	2			2				
		プログラミング応用	2					2		
	ネットワーク工学	2						2		
	技術者倫理概論	2							2	
	総合科目	電子通信基礎演習Ⅰ	2	2						
		電子通信基礎演習Ⅱ	2		2					
		電子通信工学実験Ⅰ	4			4				
		電子通信工学実験Ⅱ	4					4		
		電子通信工学実験Ⅲ	4						4	
		卒業研究	8						8	共通教育必修75単位
開設単位合計(32科目)			76	8	10	16	22	20	卒業に必要な選択単位=167-76-75=16	
選択科目	専門応用科目	情報工学理論	2				2		4年次で2単位以上	
		画像処理工学	2				2			
		Webコミュニケーション	2				2			
		デジタル通信方式	2					2		
		デジタルシステム	1					1		
		半導体プロセス	2					2		
		電子材料	1					1		
		電気通信法規	1					1		
		技術英語Ⅰ	1				1			
		技術英語Ⅱ	1					1		
	開設単位合計(10科目)	15	0	0	0	7	8			
	(履修可能単位)	15	0	0	0	7	8	15単位中 10単位以上履修		
	特別選択科目	専門科目応用	1					1	専門的資格取得	
		キャリアデザイン	1				1		4年後期(3学科共通)	
		インターシップ	1					1	4年か5年で修得可	
開設単位合計(3科目)		3					3	特別選択科目は4年に計上		
開設単位合計(45科目)			94	8	10	16	32	28	特別選択科目は4年に計上	
履修可能単位合計			94	8	10	16	32	28		

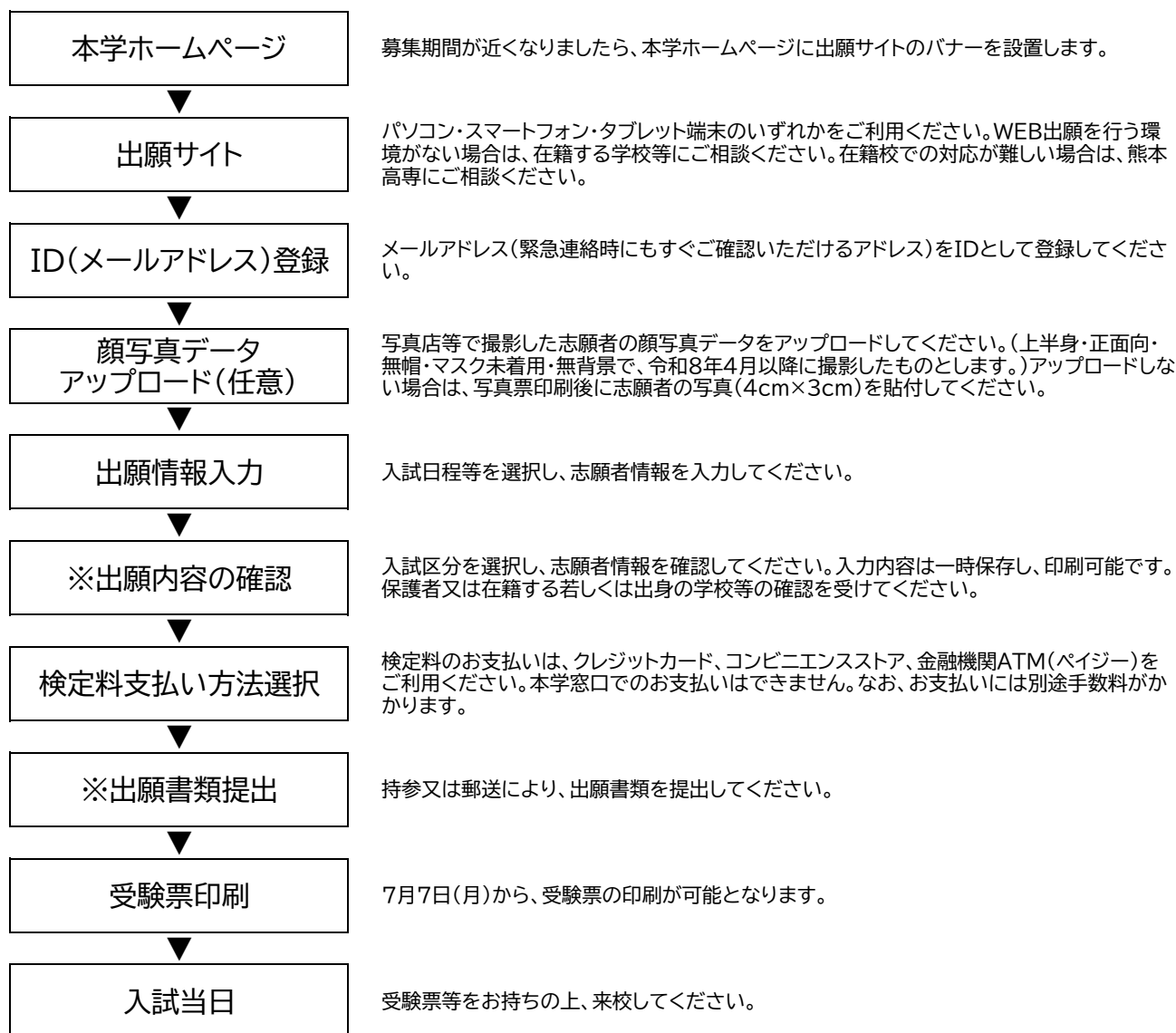
出願の流れについて

出願手続は、出願サイトで行う「WEB出願」と写真票等の必要書類を本学へ提出する「出願書類提出」書類の提出をもって出願完了となりますので、ご注意ください。手続の流れは以下のとおりです。

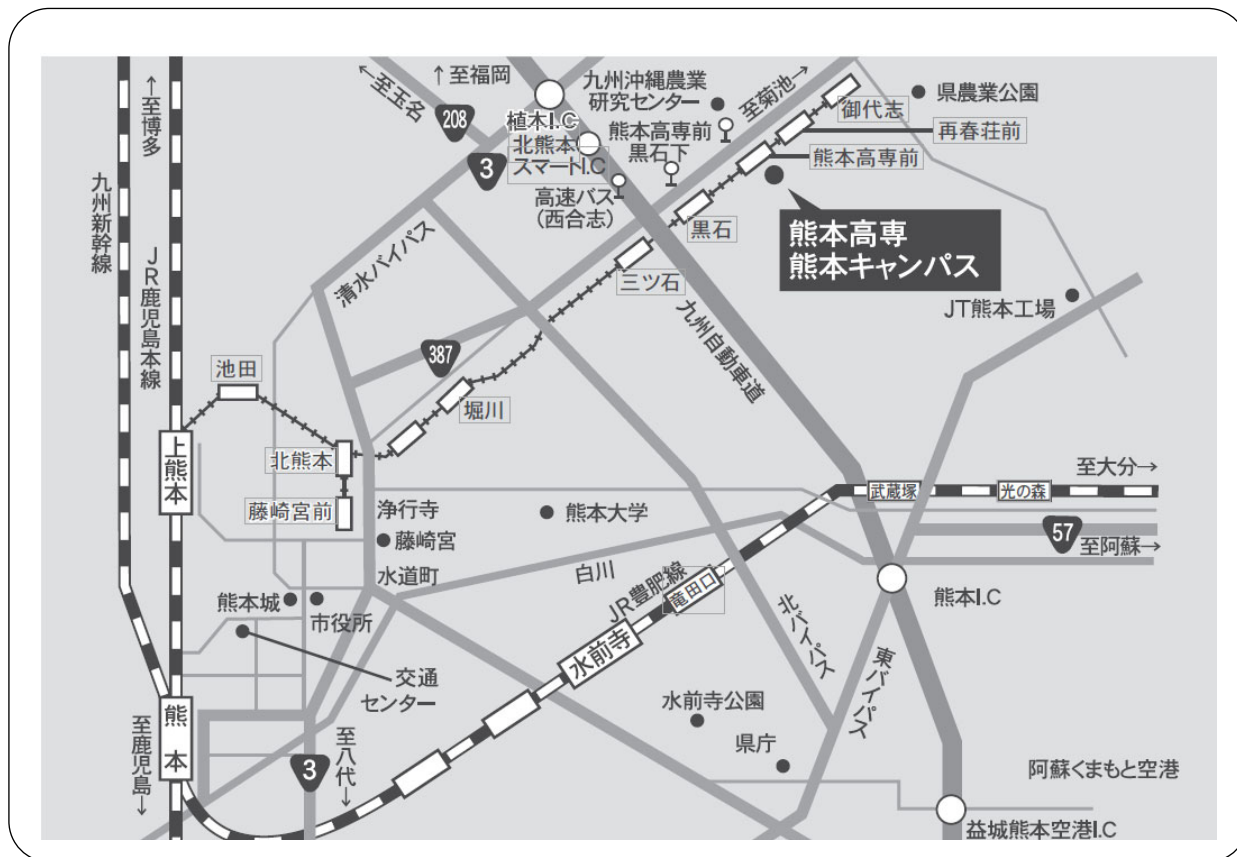
<手続の流れ>

●出願手続の方法

※は、在籍する又は出身の学校等に行っていただく事項です。



熊本高専 熊本キャンパス案内図



■ 交通案内

① 熊本電鉄（バス）

- ア. 「熊本駅前」からC1-2・C1-3・C3-1・C3-2系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約50分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ. 熊本桜町バスターミナルからC1-2・C1-3・C3-1・C3-2系統の菊池温泉行又は菊池プラザ行（田島経由を除く。）に乗車（約40分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分

② 熊本電鉄（電車）

- ア. 「藤崎宮前」から御代志行に乗車（約25分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- イ. 「上熊本」から北熊本行に乗車（約10分）。「北熊本」で御代志行に乗り換え（約20分）、「熊本高専前」下車、徒歩2分

③ 九州自動車道（高速バス）

- ア. 「西合志」下車、徒歩約25分
- イ. 「西合志」下車、菊池温泉行又は菊池プラザ行の熊本電鉄（バス）「黒石下」で乗車（約3分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分
- ウ. 「西合志」下車、御代志行の熊本電鉄（電車）「三ツ石」で乗車（約3分）。「熊本高専前」下車、徒歩2分

④ 航空機

阿蘇くまもと空港から車で約40分（約18km）